

3 学年だより

2023 年 1 月 11 日発行

2023 飛躍の年を迎えて

高校生活最後の年末年始、みなさんはどう過ごしましたか。今年、「癸卯（みずのと・う）」年です。何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。4 月からさらに大きな社会に出ていく直前の高校生活、お互いに一日一日を真剣に生きていきたいですね。

久しぶりに帰省し、NHK 紅白歌合戦で時代遅れの『Rock' n' Roll Band』を聴き懐かしいメロディと胸に迫る歌詞に涙があふれました。今年の年賀状には「おめでとう」の文字が書けませんでした。COVID-19 で苦しむ人々、命を落とした人々、仕事をなくし年末年始は炊き出しに並ばざるをえない人々、ウクライナで空襲におびえる人々、命を落としたウクライナの兵や一般市民、ロシア兵、FIFAW 杯会場等の建設で命を落とした多くの外国人労働者、多くの避難している人々など新年を迎えてもお祝いする気持ちになれませんでした。世界は 2022 年 2 月 24 日に戦後から再び戦前（戦間）が始まったといわれています。今ある問題を解決しないとやがて大戦になってしまう局面にあります。この 1 年、国外で起こっていることが直接私たちの生活に影響を及ぼす事を実感している人も多いでしょう。年始にはもう一度平和について考えたいと思い実家から福島に戻る前に高知県に行ってきました。みなさんはどのような問題が気になりますか？そしてそこから何を学んでいますか？

さて、私たちを取り巻く日本経済は経済学者の伊藤元重氏によると「停滞と安定」から「変化と不確定」の時代の転換点だそうです。前回のうさぎ（卯）年には東日本大震災と東電原発事故が起きました。震災と原発事故で被災地は時代が 10 年先に進めました。そして、COVID-19 によって一瞬にして 10 年先の未来が現実となりました。危機によって社会の中に見えなかった課題や矛盾が表面に見えるようになります。そしてなかなか変われなかったことが一気に変化でき、チャンスの時とともとらえられます。

企業の寿命より働く期間のほうが長い中、「あなたは何ができますか」と問われるジョブ型の導入が始まり、多くの若者が「自分が成長できる企業への就職」を考えるようになりました。成長は自らするものであり、他人にさせられるものではありません。どの会社に入るのかより、その会社で何を学び、何を身につけられるかが大切です。どう働きたいのか、どんな自分でありたいのか、自分は何のために生きているのか、いつまでも自分に問い続けたいですね。

実社会では正解は 1 つではありません。課題を見つける力、最適解を作り出す力、その場で何とかする力、全く新しい状況で何ができるのかが求められています。3 年間 COVID-19 パンデミックという未知の出来事の中で毎日の授業や昼休み、3 年に 1 度の福商祭、思うようにできなかった行事や部活動、生徒会活動などに取り組んだみなさんは、1 つの問題を価値観や物事の見方が違う人々とともに多面的にとらえてじっくり考えたこと、多様な意見や考えを取り入れながら問題に向き合った経験をたくさんしてきました。全く新しい状況で何ができるのか考



卒業式まであと

17 日

今後の予定

- 1 月 12 日 就職者内定指導
- 11・13 日 個人写真撮影
- 22 日 全商簿記検定
- 26～31 日 学年末考査
- 29 日 全商情報処理検定
- 31 日 自宅学習事前指導
- 2 月 21 日 登校日
- 服装頭髪指導
- 進路体験発表会
- 28 日 卒業式予行 表彰式
- 3 月 1 日 卒業式
- 30 日 離任式

え、行動することができたのではないでしょう

就職する人へ、どんなふうに通い続けたいかは前述しましたが、もっと自分が学びたいと思う課題が見つかったら何歳からでも進学の道を選ぶこともできます。もちろん、職場の中で学ぶことはたくさんできます。進学する人へ、大学・専門学校は「自ら学ぶ」ところです。「学ぶとは考えること」つまり「自ら考える」ことです。社会課題に対して、主語を「私」に変えることで自分の問題と意識することで興味を持てます。興味を持ったことを仲間とともに考え話し合い、自分の正解を見つけたい学びをしてください。

力の弱い人々が幸せになれる社会を作ることこそが、自分を含めすべての人の幸せにつながります。世界平和のために私たちは何をすべきかと問われたマザーテレサは「家に帰って家族を大切にしてください」と答えました。まず目の前の人々に信頼（信用ではありません）を寄せ仲間になることから始めましょう。いつまでも学ぶ姿勢を持ち、常に自分を高め、平和な世の中には何が必要か、自分のいる場でできることは何か、何事も小さな一歩から始まります。